

「中野区都市計画マスタープラン（素案）」に関する意見交換会等実施結果

1 意見交換会の実施状況（自治基本条例第 14 条の規定に基づき実施したもの）

(1) 実施概要

合計実施回数	7 回
合計参加人数	35 人

No.	日 時	会 場	参加人数	区側出席者（職名）
1	2月22日（火） 19時00分～	鍋横区民活動センター	2 人	都市計画課長
2	2月24日（木） 19時00分～	南中野区民活動センター	1 人	都市計画課長
3	2月25日（金） 19時00分～	東中野区民活動センター	6 人	都市計画課長
4	3月1日（火） 19時00分～	江古田区民活動センター	3 人	都市計画課長
5	3月6日（日） 10時00分～	野方区民活動センター	3 人	都市計画課長
6	3月8日（火） 19時00分～	中野区役所会議室	13 人	都市計画課長
7	3月11日（金） 19時00分～	鷺宮区民活動センター	7 人	都市計画課長

●配付書類

・中野区都市計画マスタープラン（素案）

(2) 意見交換会における意見・質疑の概要と区の見解・回答

合計意見数	13 件
-------	------

・意見・質疑の概要等は別紙1「素案に対する主な意見の概要及びそれに対する区の方考え方」のとおり

(3) 意見交換会における意見により変更した箇所とその理由

・変更した箇所は、別紙2「素案から案への主な変更点」のとおり

2 その他の参加の手続き実施状況（個別意見の提出、団体等との意見交換等）

あり

(1) 個別意見の提出

種 別	意見数
窓口	件
電子メール	1 件
ファクシミリ	件
電話	件
郵送	件
計	1 件

(2) 団体等との意見交換の実施状況

合計実施回数	2 回
合計参加人数	31 人

・実施団体名等

No.	団 体 名	日時・会場	参加人数	区側出席者（職名）
1	商工関係団体	3月18日（金）18時～ 中野区役所会議室	19 人	都市計画課長
2	建築関係団体	3月28日（月）18時～ 産業振興センター	12 人	都市計画課長

(3) 個別意見の提出、団体等との意見交換等に関する特記事項

なし

素案に対する主な意見の概要及びそれに対する区の考え方

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
第3章 全体構想		
1	中野区は南北に長く、南部の住民にとって北部の地域はあまり縁がなく、まちづくりに一体性が感じられない。	全体構想では、主要な駅ごとに「まちの拠点」を示すとともに、それらを利便性ある公共交通や基盤整備により各地区をネットワークさせる「まちの軸」を示し、それぞれの地域の特性を生かし区全体の視点を持ち都市づくりを進める方針を示している。
2	全体構想の都市づくりの基本方針図と、地域別構想による各まちづくり方針図が示されているが、どちらが上位なのか教えてほしい。	全体構想ではテーマごとに区全体の都市づくりの方針を示し、それを踏まえ地域別構想では各地域の課題に対応した都市づくりの方向性を示している。両者は相互に関連する構成としている。
3	子どもに優しい環境に関しては、広町みらい公園ができて少し良くなった。こうした公園が整備されるとよい。	都市づくりの基本方針【魅力】・【住環境】では、公園等の魅力的な空間形成や住環境の誘導等により、子育て世帯が暮らしやすい住環境形成の考えを示している。
4	20年先に向けて、この地域はどうやって土地利用を守っていくのが大切である。この地域はまちづくり資源が多い。お寺、公園がある。これらが活かされて、暮らしに直結されていくことが大切である。	都市づくりの基本方針【魅力】では、「まちの魅力を高め、地域への愛着を育てる都市づくり」の方針として、歴史文化的資源やみどり、オープンスペースを生かしたまちづくりの考えを示している。
5	中野通りの桜の並木が植え替えて抜かれているが、先人が植えたものを大切にしていって、市民も汗をかいていくことが必要である。愛着を持てる桜並木、景観にしていけることも大事ではないか。	都市づくりの基本方針【魅力】では、歴史文化的資源を生かした都市景観の形成やみどりの保全・育成など良好な景観形成に向けた方針を示している。
第4章 地域別構想		
6	南部地域では、幹線道路沿いにはマンションが連立しているが、一歩住宅地の中に入ると道路が狭くなっており、建替や開発が難しい地区が多い。	都市づくりの基本方針【防災】では、狭あい道路の拡幅整備や建物の不燃化、耐震化促進などの地域の防災性向上の考えを示している。
7	本町一丁目地内に住んでいるが、周辺は木造住宅が密集して防災上の課題もある。区はこの地域をどう考えているのか。	地域別構想では、本町一丁目地区について、狭あい道路等の拡幅等の基盤整備に合わせ都市型住宅への誘導等を図る方針を示している。
8	東中野駅の東口周辺ではバリアフリー化が遅れている。そうした地域の課題を示し対応してもらいたい。	バリアフリーに配慮した都市整備については、都市の骨格づくりの基本方針（全体構想）の中で示している。東中野駅東口周辺の課題として地域別構想に盛り込んでいく。
9	中野駅周辺まちづくりグランドデザインでは、千光前通りで JR 車庫を活用したまちづくりの記載があるが、都市計画マスタープランとの整合はとれているのか。	現在及び改定中の都市計画マスタープランにおいて、都市づくり方針の連続性は引き継がれており、位置づけは変わっていない。まちづくりの進捗状況をさらに反映した都市計画マスタープランとしている。
10	中野五丁目の路地空間は魅力があり、この景観特性を生かしたまちづくりが求められていると考える。	地域別構想では中野五丁目地区は防災性、安全性を図るとともに、個性と魅力をもった商業・業務、都市型住宅の誘導を進める方針を示しており、これに従ってまちづくりを進める必要がある。
11	若宮地域では現在、防災まちづくりの協議会が発足し、検討を進めている。都市計画マスタープランでは若宮一丁目地区が北部地域と北西部地域に分断している。どうしてなのか。	地域別構想の地域区分の考え方は、主要な駅を中心とした都市整備上の課題の同質性や、地域の特性等を参考に設定している。地域の活動を分断するのではなく、各地域のまちづくりを進める際、都市整備上の課題を理解するための区分としている。

素案に対する主な意見の概要及びそれに対する区の考え方

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
第5章 推進方策		
12	都市計画マスタープランは5年間くらいで見直しができるようにすべきである。	都市計画マスタープランは、東京都の上位計画を踏まえて目標を20年間としている。経常的な点検とともに、社会情勢の変化や新たな都市課題が生じた場合は見直しを適切に行うこととしている。
13	都市計画マスタープランに、こういうことが仕込んであったから具体的なまちづくりができた、ということはあるか。	中野駅周辺の各まちづくりや、西武新宿線沿線まちづくりは、現在の都市計画マスタープランを踏まえ、具体のまちづくりが進んでいる。

意見交換会における意見により変更した箇所とその理由

構成・項目	頁	主な変更点 ※文言整理等の一部修正は除く
第4章 地域別構想 中東部地域の課題	P.148	東中野駅東口周辺のバリアフリーについての記載を加えた。
第4章 地域別構想 中東部地域のまちづくり方針	P.150	バリアフリー、ユニバーサルデザインへの視点を盛り込んだ。